

本時のねらい

タブレット端末 (iPad) のカメラ機能を活用して、トマトの観察を行う。Keynote を活用して観察したことをスライドにまとめる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

撮影した写真を見比べることで、トマトの成長の過程をより実感を持って感じ取らせる。

Keynote を活用し、観察したことをスライドにまとめる活動を通して、ひらがなでの文字の打ち方や画像の添付の仕方など基本的なタブレットの使い方を定着させる。

作ったスライドを授業支援アプリ (ミライシード) のムーブノート機能を使って共有することで、友達の良いところを見つけたり、次回以降の活動への意欲を高めたりさせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 (iPad) ・電子黒板
- ・Keynote ・授業支援アプリ (ミライシード) ムーブノート

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|-------------|--|---|
| 導入 (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認 「トマトのはっぱとくきをかんさつしよう」 ○観察のポイントの確認 ・まえより・かたち・におい・いろ・ながさ・さわってみて・おと ・おもったこと・みつけたこと ○Keynote での画像の挿入の仕方と文字の入力方法の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に iPad の画面を提示して一緒に確認する。 |
| 展開 (35分) | <ul style="list-style-type: none"> ○Keynote を使ってスライドを作成する。 ・自分くらの大きさになったよ。 ・ミニトマトちよつだけ大きくなったよ。 ・色はみどり色で、ふわふわしていました。 ○授業支援アプリ (ミライシード) ムーブノートでスライドを共有しコメントを入力しあう。 ・すごい・明るくてきもちよそう・いいね・よくわかります | <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなでの文字の打ち方や画像の添付の仕方など基本的なタブレットの使い方を定着させる。 ・スクリーンショットの方法を確認し、作成した Keynote をムーブノートに貼り付け、共有する。 |
| まとめ (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ○次回の観察について説明を聞く。 ○iPad を片付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「花」と「つぼみ」の観察を行うことを連絡する。 ・並んでタブレット置き場に片付ける。充電も忘れずに行うよう指示する。 |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1: 中庭にてトマトの観察をしている場面



写真 2: 教室で、トマトの観察をまとめている場面



写真 3: ムーブノートを使い、コメントを送り合っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・回数を重ねるごとに、ひらがなでの文字の打ち方に慣れ、互いのスライドにコメントを送りあえるようになった。
- ・初めは大きく全体のことをみていたが、トマトの苗を購入した業者からのお話や、トマトが成長するにしたがって見たいものに焦点を合わせて、細かく観察できるようになった。
- ・離れた席に座っている友達のスライドを見ることができたことや友達から「いいね！」がもらえたことを嬉しそうにしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

1～2年生はローマ字入力にこだわらず、手書き入力や、ひらがなのキーボードを使うことで、できることの幅が広がる。アプリの切り替えは、慣れが必要なので、使い続ける大切さを感じた。共有時のコメントに絵文字を使ってもいいと伝え、使い方を考えて、うまく使うことができていた。コメントを書き込むことへの指導は、高学年での SNS トラブルの予防にもつながると考える。ムーブノートの広場は、低学年でも操作が簡単で作品の共有に向いている。